まちづくりディスカッション報告書 ~ 自転車を活用したまちづくり ~





令和 5年 3月 名取市



\

第1章 まちづくりディスカッション	
1 目 的 · · · · · · · · · · · 1	
2 対象者の抽出方法・・・・・・1	
3 当日の参加者数・・・・・・1	
4 当日のスケジュール ・・・・・2	
第2章 話合いの方法、意見のとりまとめ及び話合いの結果	
1 「まちづくりディスカッション」の話し合いの方法 ・・・・ 3	3
2 「まちづくりディスカッション」の意見のとりまとめ ・・・ 3	3
3 「まちづくりディスカッション」の話し合いの結果 ・・・ 3	3
4「まちづくりディスカッション」の投票 結果 ・・・ 12	
第3章 アンケート結果について	
1 アンケート結果について ・・・・・ 13	

資料編

意 見 集 約 シート・・・・・ 23

第1章 まちづくりディスカッション

1 目的

声の小さな市民、いわゆるサイレントマジョリティーの意見を市政運営に反映し、市民参加による協働のまちづくりを進めるため、名取市では初めての試みとなる「まちづくりディスカッション」を実施した。

今回は、令和5年度に取組む「名取市自転車活用推進計画」策定の際に市民の声として活用するための意見を聞くため、「自転車を活用したまちづくり」をテーマに設定した。

2 対象者の抽出方法

名取市全体の年齢構成及び地区別人口を加味し、満 18 歳~85 歳以下の市民 1,000 名を無作為に抽出した。

3 当日の参加者数

40 名 (参加者定員 50 名)

単位:人	増田地区	増田西地区	名取が丘地区	閖上地区	下増田地区	館腰地区	愛島地区	高舘地区	ゆりが丘地区	相互台地区	那智が丘地区	合計
年代												
10代	4					1	3					8
20代		1	1									2
30代		1			1			1	1			4
40代		1			2	2	1			1	2	9
50代		1	1	1	1							4
60代	1	1								1		3
70代			2	2				1	2		2	9)
80代	·			·						1		1
合計	5	5	4	3	4	3	4	2	3	3	4	40



4 当日のスケジュール

令和 5年 3月 19日(日) 10:00~15:35				
時間	内 容			
9:30~10:00	受付			
10:00~10:40	国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 交通対策課			
	「自転車活用推進計画について」(説明)			
10:40~11:10	名取市政策企画課(事務局)			
10.40~11.10	「名取市における自転車施策について」(説明)			
11:10~11:20	休憩			
11:20~12:00	グループワーク(自己紹介・意見を書き出す)			
12:00~13:00	休憩			
13:00~14:10	グループワーク			
13.00~14.10	(意見を出し合う・グループ化する・グループの意見をまとめる)			
14:10~14:20	休憩			
14:15~14:55	グループ発表			
14:55~15:05	休憩			
15:05~15:20	投 票			
15:20~15:35	市長との意見交換			
15:35	終了			









第2章 話合いの方法、意見のとりまとめ及び話合いの結果

1 「まちづくりディスカッション」の話し合いの方法

話合いの方法については、参加者全体の年齢構成を加味し、各グループの年齢構成 バランスが等しくなるよう調整した。(1 グループ:6 人~8 人)

今回は、「自転車を活用したまちづくり」がテーマであるが、幅広い意見を聴取するため、以下のとおりグループ毎に個別テーマを設定した。

・A~B グループ

観光面における自転車の活用(サイクリストに来てもらえる「まち」)

·C~D グループ

自転車活用の今後の方向性について(ゼロカーボン、公共交通、高齢社会、健康づくり)

・E~F グループ

安心安全な自転車活用の環境整備

2 「まちづくりディスカッション」の意見の取りまとめ

ブレインストーミングと KJ 法の手法により意見の取りまとめを行った。グループ内で 共有した意見について、KJ 法の手法により、分類的に同じと思われるものをグループ 分けし、グループ分けした意見ごとにキーワードを設定した。

まちづくりディスカッション全体の意見として投票を行うこととしており、グループ分けした意見毎に発表用シートを作成し、投票を行った。投票の方法については、1人につき3枚の投票用シールを配布し、特に趣旨に賛同する意見について、個別テーマから1つずつ投票していただいた。

3 「まちづくりディスカッション」の話合いの結果

各グループでの意見及び投票結果については、次項のとおり。

A グループ

個別テーマ:観光面における自転車の活用(サイクリストに来てもらえる「まち」)



まとめの意見

〇レース・イベントの開催

- ①サイクリストという言葉の定義について、プロ・セミプロのほか自転車を利用する 市民・観光客も含まれると整理
- ②多くの方に来訪してもらうため、レースや家族連れ、障がい者、高齢者でも楽しめるイベントの開催(気軽に参加できる距離設定にも配慮)

〇レンタルサイクルの導入

- ①市民、観光者に名取の良さを知ってもらうための手段として導入し、気軽に名取 市内を周遊
- ②高齢者向けに電動アシスト自転車を導入

○自転車が快適に走りやすいロード及び自転車整備について

- ①自転車の整備を行う拠点を設け、拠点間を結ぶ交通(ロード)整備
- ②天候に左右されずに楽しめる環境整備(例 バーチャル自転車)

〇サイクルマップの活用

①初めて来る方にも分かりやすく、観光地の PR にもつながる手軽に使えるサイク ルマップの案内

○広報・アピールについて

①市民以外にも名取市に来訪してもらえるよう自転車を使った楽しみ方を市から 情報発信してアピール

OSNS の活用について

- ①市民や観光者に知ってもらった情報を発信してもらう (サイクリングアプリ、フォトスポットの提供)
- ②動画撮影用カメラの貸出し

B グループ

個別テーマ:観光面における自転車の活用(サイクリストに来てもらえる「まち」)



まとめの意見

○多様な広報媒体を活用した自転車コースの PR

- ①SNS の活用、インフルエンサーによる拡散、広報の利用、マスコミによる紹介
- ②多言語化による情報発信

〇イベントの開催

- ①アスリート向けコースの設置
- ②大会の開催
- ③初心者向けのサイクリング教室の開催
- ④自転車コースの明確化

○観光施設と連携した取組みについて

- ①「ゆりあげ港朝市」、「かわまちてらす閖上」、「田園風景」、「那智神社」等の名取市 の魅力のアピールにつながる自転車の活用
- ②飲食店や宿泊施設等に自転車で来訪した際の自転車割引の実施
- ③スタンプラリーの開催

○自転車活用に向けた施設面の整備について

- ①BMX 等の練習場所の整備
- ②自転車メンテナンスを行う自転車屋の環境整備
- ③市内各駅でのレンタルサイクルの導入及び拠点エリアでの駐輪場の増設
- ④自転車のまま利用できる公共交通 (タクシー・電車・なとりん号閖上線)

Cグループ

個別テーマ: 自転車活用の今後の方向性について(ゼロカーボン、公共交通、高齢社会、健康づくり)



まとめの意見

〇自転車取得・利用の補助

- ①アシスト自転車やチャイルドシート付き自転車の取得助成
- ②一時利用や月極レンタル、シェアサイクルなど自転車を購入しなくても乗れるサ ービスの提供

Oイベント

①市民参加型の自転車イベントの開催

(景品付きの大会・お祭り、参加者同士の交流機会の創出、スタンプラリー、 復興マラソンのような恒例化、東部道路の封鎖など)

○ごほうび(※自転車利用によるインセンティブの付与について)

①自転車に乗ることで得る得点(自転車走行距離に応じたポイント、景品、クーポンなどアプリの活用も含む)

○健康・ルールの周知

- ①健康増進効果の周知
- ②自転車交通ルールなど講習会の開催
- ③高齢者に対する呼びかけの実施

〇新しい機能の自転車開発

①安心安全で自然に優しい自転車があると良い (転ばない自転車、太陽光パネル搭載自転車、三輪車、タンデム(二人乗り)など)

〇公共交通との連携

- ①駐輪場の整備(愛島台等のバス停付近の整備や高級自転車用駐輪場も含め)
- ②バスに自転車を載せるサイクルバスの導入
- ③自転車活用の拠点となるサイクルスポーツセンターへのアクセス向上

○環境整備(※安心して自転車に乗れるために環境整備は大前提の考えより)

①自転車専用レーンの確保・舗装による整備

D グループ

個別テーマ: 自転車活用の今後の方向性について(ゼロカーボン、公共交通、高齢社会、健康づくり)



まとめの意見

〇サイクルスポーツセンターの活用

- ①自転車の交通ルールを学ぶ教習所としての活用
- ②自転車イベントやツアー等を開催し、家族で楽しめる場所として活用

○ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み

- ①パーク&ライドの自転車バージョンの推進
- ②電気自転車の充電スペースを拡充
- ③山手団地への電気自転車の普及促進
- ④ガソリン使用量やCO2削減量を個人レベルで見える化

〇循環型社会関係

①名取市の活性化を図るため、仙台市を手本として DATEBIKE(シェアサイクル) を名取駅、イオンモール名取を拠点に導入(60 分以内 150 円)

○補助関係(※自転車を手に入れやすくするために)

- ①ヘルメット購入補助(小学生等には購入時にヘルメットを寄贈する)
- ②自転車損害賠償任意保険への加入補助
- ③高額の電動アシスト自転車等の購入補助

〇高齢者社会関係(※今後、名取市の高齢化率が進行する予測であることを背景に)

- ①自転車による健康効果を広く周知
- ②運転免許証返納後の移動を支えるため電動自転車やシニア用自転車購入補助
- ③健康づくり、コミュニティづくりにつながる方策の検討

○交通ルール関係

- ①自転車の交通ルール・マナーの指導
- ②自転車免許取得制度の導入
- ③自転車事故損害賠償保険加入の周知・啓発
- ④自転車ナンバープレートの装着促進

〇整備関係

①自転車が通行しやすい道路整備について(通行しづさらの解消)

・ 道路拡幅 : 国土 4 号線から閖上までの整備

・ 名取川土手整備 : 標識の見づらさ解消

・貞山運河周辺のトイレ整備

②駅や他の交通機関との連携について

・駐輪場整備

シェアサイクルの導入

・「輪行」がしやすい環境整備

※「輪行」・・・自転車を電車やバスなどの公共交通機関に載せて移動すること





Eグループ

個別テーマ:安心安全な自転車活用の環境整備



まとめの意見

OPR

- ①自転車に関するリーフレットの作成・配布
- ②市の広報誌による情報発信

〇交通指導

①自転車の利用者に対し、直接指導・助言を行う

〇自転車で楽しむ生活

- ①子どもたちの遠足で自転車を利用
- ②高齢者用の自転車の普及

〇自己の意識改革

- ①1 台の自転車に 1 つのヘルメット(ヘルメット装着イメージ定着化のための普及)
- ②駐輪場でのヘルメットの保管方法の確立

○意識改革

- ①二人乗りやヘルメット未装着が格好良いというイメージの転換
- ②自転車事故の加害者・被害者を他人事と思わない (自転車事故の後遺症等を伝える)

○自転車利用者の人口増加

- ①名取市での自転車通勤手当の支給
- ②企業・事業者への自転車通勤手当勧告

〇地域の見直し

- ①坂が多い地域など、地域の地理的特性を見直した自転車マナーの周知・啓発
- ②自転車走行の注意を促す看板等の設置

〇ハード面の整備(※自転車が安全に走行するには何よりハード整備が重要との考えより)

- ①自転車道の整備
- ②歩道にある樹木・電柱の撤去
- ③歩道を走る自転車への自転車交通ルールの指導
- ④自転車道と歩道を分かりやすく区別する(自転車専用道路の整備促進など)

OSDGs

- ①放置自転車を整備し、サブスク転用を図る
- ②自宅などにある利用しなくなった自転車の再利用
- ※「サブスク」・・・サブスクリプションの略 製品やサービスなどの一定期間の利用に対して、代金を支払う方式。





Fグループ

個別テーマ:安心安全な自転車活用の環境整備



まとめの意見

〇貸出·補助金

- (1)ヘルメット着用を促すためのヘルメット貸出
- ②ヘルメット購入補助金の拡充

〇広報・周知

- ①SNS を利用した啓発活動
- ②シェアサイクルの拡充
- ③街頭での声掛け、注意喚起の看板
- ④自転車に触れる機会の創出

〇道路·整備

- ①車道・歩道・自転車道の区別(歩行者・自動車ドライバーへの配慮も含め)
- ②ルールを守れる自転車利用環境の整備

〇点検•整備

- (1)自転車の点検・整備の仕方についてレクチャー
- ②自転車の点検・整備をしてもらえる場所を作る

〇教育

- ①幅広い世代(子ども・高齢者・障がい者など)交通安全教室の開催
- ②町内会など全世代が参加できる自転車交通ルール・マナーを教育する場を設ける

4 「まちづくりディスカッション」の投票結果(投票数の多い順に掲載)

4 「まちつくりテイスカッション」の投票結果(投票数の多い順に掲載) A・B グループ : 観光面における自転車の活用(サイクリストに来てもらえる「	゙゙゙゙゙゙゙゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙
意見・提言	投票数
	18
観光施設と連携した取組みについて	9
多様な広報媒体を活用した自転車コースの PR 及び、サイクルマップの活用	7
レース・イベントの開催	5
レンタルサイクルの導入	2
C・D グループ: 自転車活用の今後の方向性について	_
(ゼロカーボン、公共交通、高齢社会、健康づくり)	
意見・提言	投票数
自転車取得・利用の補助	9
ごほうび(※自転車利用によるインセンティブの付与)	7
自転車利用環境整備	5
サイクルスポーツセンターの活用	4
高齢者社会関係	4
ゼロカーボンシティの実現に向けた取組み	3
交通ルール関係	3
公共交通との連携	2
循環型社会関係	2
イベント	1
健康・ルールの周知	1
新しい機能の自転車開発	1
E·F グループ : 安心安全な自転車活用の環境整備	
意 見・提 言	投票数
ハード面(自転車専用通行帯・道路等)の整備	13
自転車利用者の人口増加(自転車通勤手当の導入・勧奨)	5
交通指導•教育	5
SDGs	5
自己の意識改革	3
点検・整備	3
自転車で楽しむ生活	1
意識改革	1
ヘルメット貸出・購入補助	1
地域の見直し	0
自転車交通ルール等 PR のための広報・周知活動	0

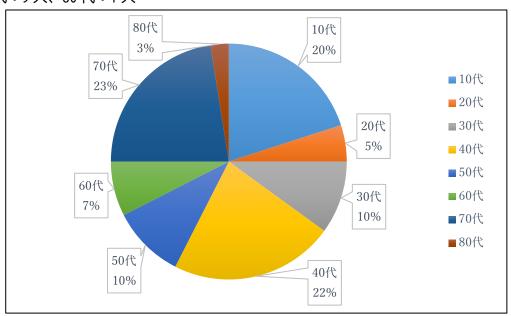
第3章 アンケート結果について

1 アンケート結果について

(1)参加者の年代について(N=40)

10代:8人、20代:2人、30代:4人、40代:9人、50代:4人、60代:3人、

70代:9人、80代:1人

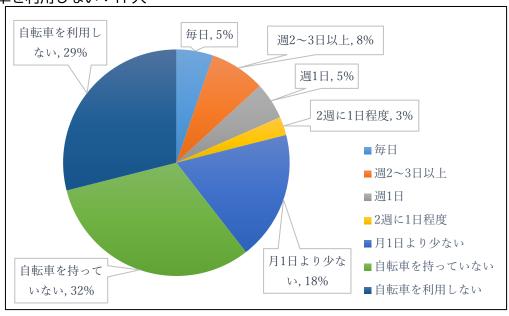


(2)自転車に乗る頻度について(N=40)

毎日:2人、週2~3日以内:3人、週1日:2人、2週に1日程度:1人、

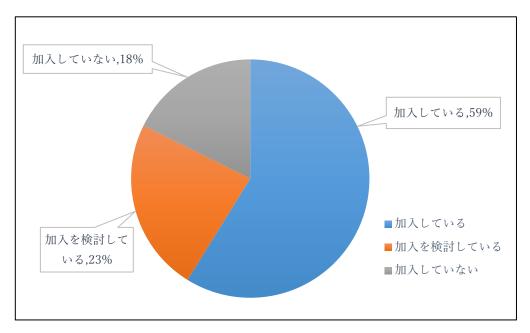
月1日程度:2人、月1日より少ない:7人、自転車を持っていない:12人

自転車を利用しない:11人



(2-1)(2)で自転車に乗ると回答した方に伺います。自転車自己損害賠償責任 保険に加入していますか(N=17)

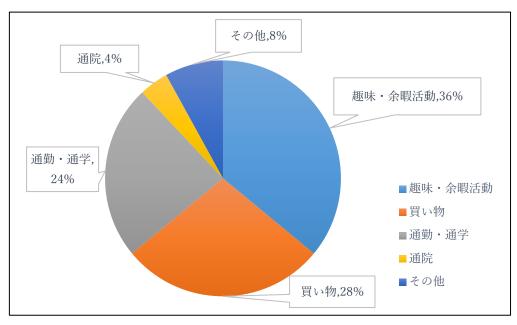
加入している:10人、加入を検討している:4人、加入していない:3人



(2-2)(2)で自転車に乗ると回答した方に伺います。自転車に乗る移動目的に ついて(複数回答可)(N=17) ※回答が多い順に掲載

趣味・余暇活動:9人、買い物:7人、通勤・通学:6人、通院:1人、

その他 (イベント参加・仕事):2人



(2-3)(2)で自転車に乗ると回答した方に伺います。自転車を利用する目的に ついて(複数回答可)(N=17)※回答が多い順に掲載

目的地までの所要時間が短いから:8人

費用(お金)がかからないから:8人

途中で自由に立ち寄りできるから:8人

体力づくり、健康に良いから:5人

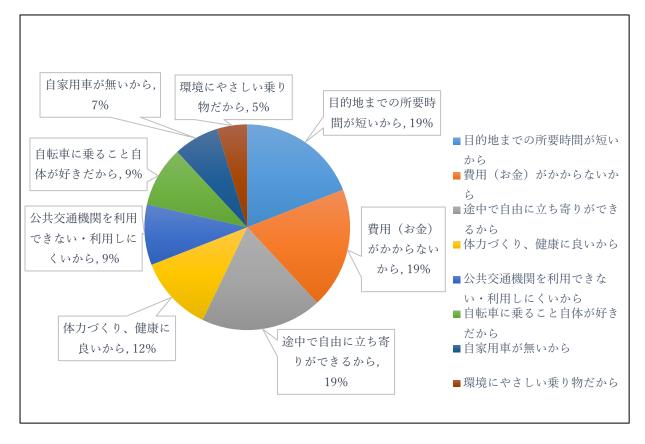
公共交通機関を利用できない・利用しにくいから:4人

自転車に乗ること自体が好きだから:4人

自家用車が無いから:3人

環境にやさしい乗り物だから:2人

子ども・友人も自転車を利用するから:0人



(3) 「まちづくりディスカッション」にご参加頂いた動機について (複数回答可)(N=40) ※回答が多い順に掲載

面白そう(楽しそう)な企画だと思ったから:21人

謝礼があるから:16人

市が行う初めての試みに参加してみたかったから:14人

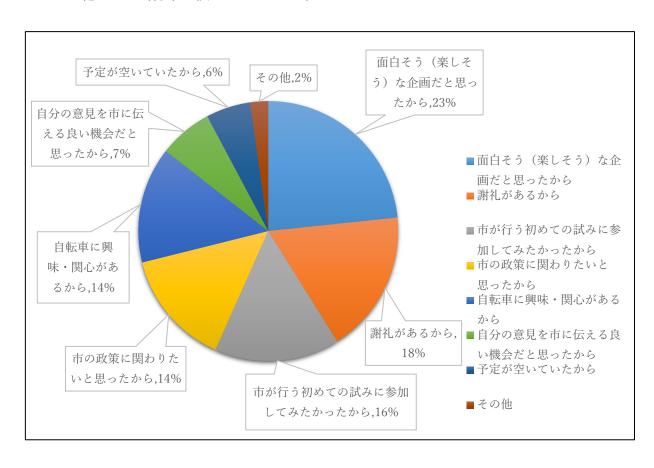
市の政策に関わりたいと思ったから:13人

自転車に興味・関心があるから:13人

自分の意見を市に伝える良い機会だと思ったから:6人

予定が空いていたから:5人

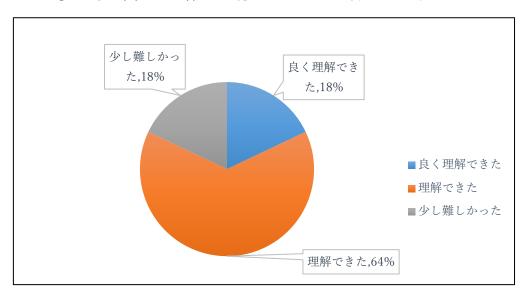
その他:2人(将来に役立ちそうなど)



(4)国土交通省 仙台河川国道事務所による「自転車活用推進計画について」 の説明はいかがでしたか。(N=39)

良く理解できた:7人、理解できた:25人、少し難しかった:7人、難しかった:0人 自由記述:①現状のままで推進するのはやはり難しいと思いました。環境整備はもちろ ん、自転車通勤の推進が出来ると良いと思った。

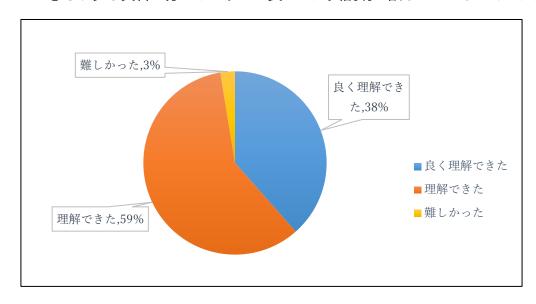
- ②ナショナルサイクルルートに名取市は入らないのか
- ③国道沿いの歩道の整備か拡幅を図ってほしい
- ④もう少し図などを増やして分かりやすくして頂きかった。



(5)名取市による「名取市における自転車施策について」の説明はいかがでした か。(N=39)

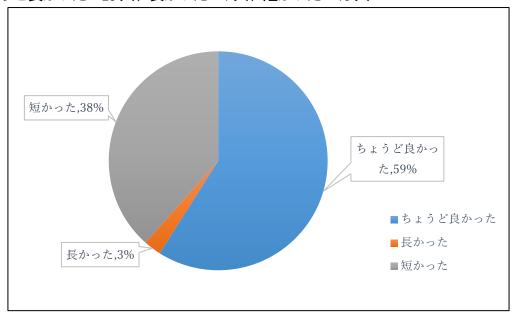
良く理解できた: 15 人、理解できた: 23 人、少し難しかった: 0 人、難しかった: 1 人 自由記述:①サイクルスポーツセンターの説明が多すぎた。

②もう少し資料が分かりやすいと良かった。(説明が欲しいところがあった。)



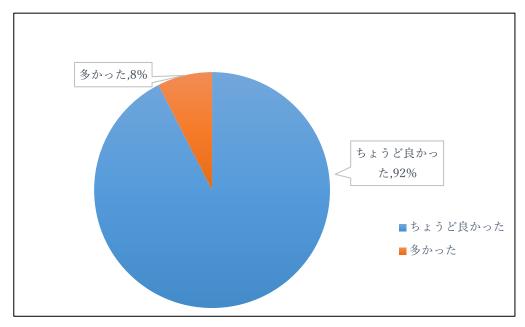
(6)「ディスカッション」の時間配分はいかがでしたか。(N=39)

ちょうど良かった:23人、長かった:1人、短かった:15人



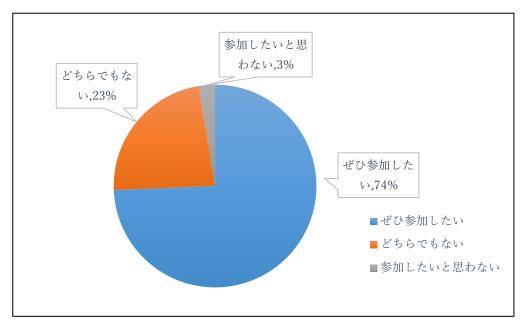
(7)グループの構成人数はいかがでしたか。(N=40)

ちょうど良かった:37人、多かった:3人、少なかった:0人



(8)今後このようなイベントを開催した場合、また参加したいと思いますか。 (N=39)

ぜひ参加したい:29人、どちらでもない:9人、参加したいと思わない:1人

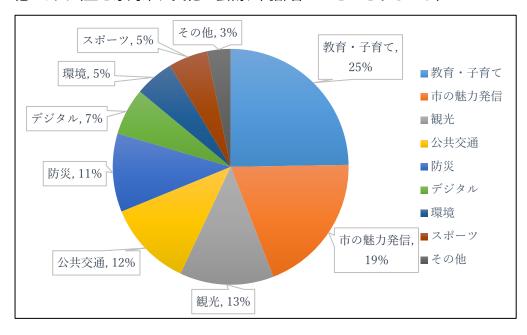


(9)今回は「自転車を活用したまちづくり」がテーマでしたが、今後実施してほしい テーマはありますか。(複数回答可)(N=40) ※回答が多い順に掲載

教育・子育て:23人、市の魅力発信:18人、観光:12人、公共交通:11人、

防災:10人、デジタル:6人、環境:5人、スポーツ:5人、

その他:3人(空き家対策、文化・芸術、高齢者がいきいきするまち)



(10)今回の「まちづくりディスカッション」のご感想やご意見などがありましたら ご記入ください。

- ・ディスカッションに参加できてよかったです。一番大事なことは道路の整備だと思います。
- ・各自の意見を出し切る前に、意見のグループ化を始めて下さいとなりました。グループの人数構成を考えても、もう少し時間が必要だと思いました。自分とは違う視点での意見も聞けてとても良かったです。開催時期はもう少し検討しても良いかと思いました。日曜日は良いとしてもお彼岸の日曜日だったので。サイクルラックの整備として、コンビニにあると乗る方も助かります。
- ・無作為の選出であるが故の幅広い意見を聞くことができた。観光、ゼロカーボン、 健康づくり、自転車活用に優先順位付けが必要。まずは自転車人口を増やすという ことであれば、ゼロカーボンは優先順位が下がるはず。また、その自転車人口は観 光者なのか、健康づくりで一般市民をターゲットにするのかが、重要と感じた。
- ・結局、職員の方が結論を誘導している所があったので市民参加の意味はどの程度あるのか疑問に思いました。ただ、聞こうとする姿勢は良いと思いました。とても面白かったです。
- ・同じ名取市で生活する方々と交流、意見交換ができて、とても貴重な体験をすることができました。今後同じような機会があれば是非参加したいと思いました。ありがとうございました。
- ・将来保健師になるのに、こういう機会で市民の皆さんと意見を共有できたことはと ても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自転車について見直すことができました。参考になりました。
- ・色々な世代の方とグループを作って最初は緊張していましたが、楽しくディスカッションできました。より良いまちづくりをと、同じ名取市民として共通する思いがありました。
- ・取りまとめた意見がまちづくりに活かされると良いと思います。

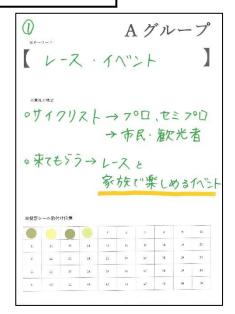
- ・ブレインストーミング方法はとても役立ちました。自由に発言し否定せずどのよう なことを話しているのか自分なりに咀しゃくし、各自の思いを書く。これからもディスカッションは公平な気持ちで幅広く話し合って行きたいものです。
- ・新しい視点から自転車を見ることができ、充実した時間を過ごせたかなと思います。 どのようにまとめれば良いかを考えたりするのが、これからに生かせそうだと思い、 考える場が名取市政で良かったなと思いました。
- ・楽しい時間でした。ありがとうございました(^^)/
- ・名取市が取り組むディスカッションに参加できて貴重な体験でした。少しでも名取 市が明るく魅力的な市になるよう、参加できて良かったです。
- ・初めて参加しました。初めは緊張しましたが自分の思いを話せました。また、他の 人の話も興味を持ちました。初めに自己紹介があると雰囲気作りになると思いまし た。
- ・様々な意見が出て聞いていても面白かった。どんどん意見が採用されて名取市が魅力溢れる市になっていけば嬉しいです。
- ・この様な event を通して、市民の思いを取り込むのは有益ではないかと思います。
- ・幅広い世代の皆さんと交流する機会になりました。様々なアイディアを聞くことができ、もっと名取市のことが好きになりました。このような機会を作って頂きありがとうございます。
- ・今回初めて名取市のこのような企画に参加させて頂きましたが、初対面の人と意見を交流することの面白さや難しさを体感でき、とても充実した時間だったなと感じます。今後、自転車を活用した名取市の活性化が進むことを楽しみにしています。
- ・普段知り合えない方たちとディスカッションすることができて良かったです。(若い方たちの考え等知れて感心しました。) 声の小さな方たちの意見も取り入れたいとの姿勢、嬉しく思います。ありがとうございました。

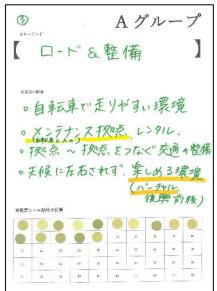
- ・幅広い年代の方々が集まり多くの意見を交換できたことでとても勉強になりました。まちづくりに貢献できるということで貴重な体験となりましたので、また機会があればぜひ、参加させて頂きたいです。ここでの話合いがより暮らしやすいまちづくりに活かされるよう、今後も期待しております。宜しくお願い致します。
- ・やってみて意外に楽しかった。普段話すことのない年代の方と話したり、一緒に作業したりできたのでとても良い経験になりました。もし、またこういう市の政策に関わることでできるのならばやってみたいなと思いました。
- ・小グループでのディスカッションは、進行役の力量次第で結果に大きく影響が出ます(職員の方々が進行役になるのは助かりましたが)。今回初めての試みとのことでどんどんブラッシュアップされることを期待します。各席に 1 台 PC があると意見のまとめや資料作成に便利かと思います。
- ・色々な市民の考えを聞けるので続けていってほしい。また来たくなるサイクリング ロードの整備をお願いします。
- ・無作為選出という方法が非常に良いと思った。このような機会が無いと市について 考えることもないと思う。市政をより身近に感じられると思う。
- ・今回初めての試みということで貴重なディスカッションに参加させて頂きありが とうございました。ぜひ、2回目3回目もあると良いなと思います。とても素敵な 取り組みだと思います。県外の出身ですが、とても名取が大好きです。より良いま ちになっていったら良いなと思います。

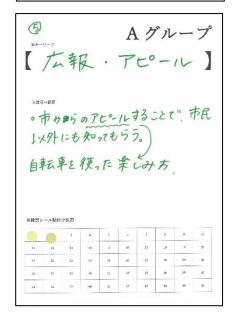
資料編

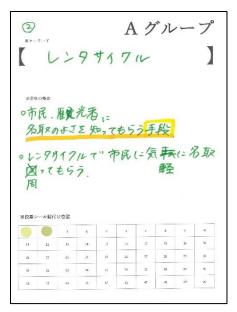
(各グループの意見集約シート)

A グループ





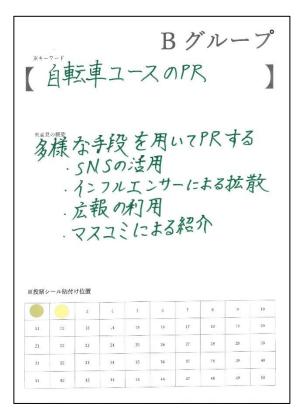


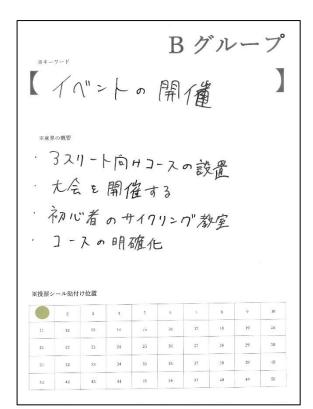




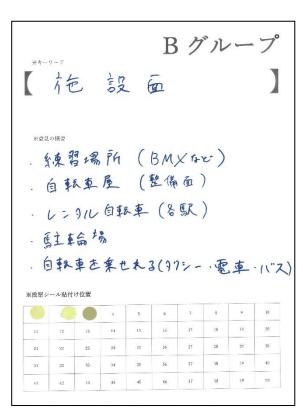


B グループ

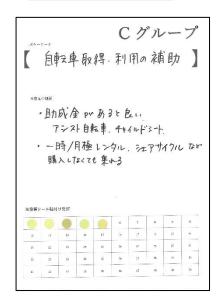


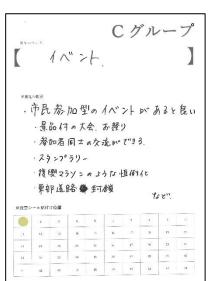


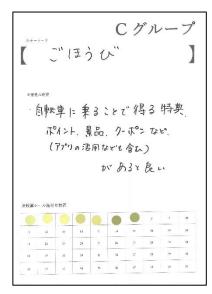


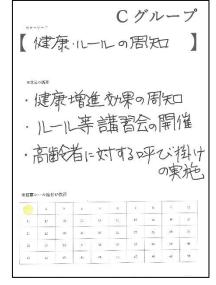


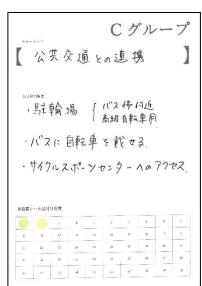
Cグループ

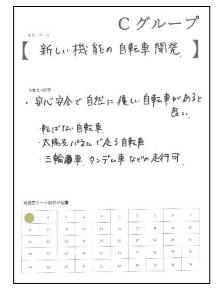


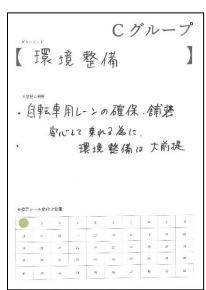




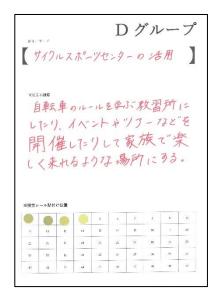


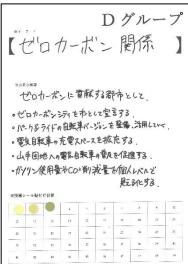


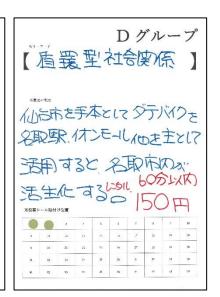




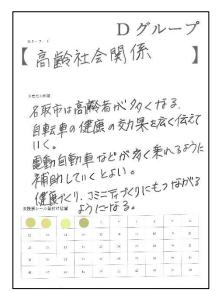
D グループ







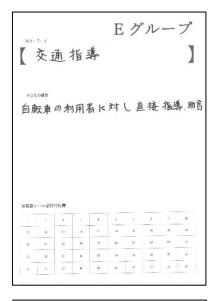


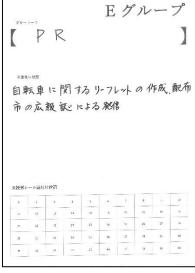


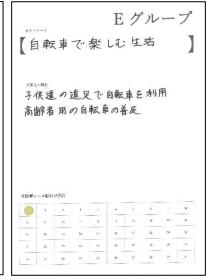


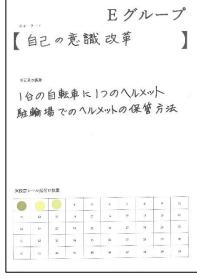


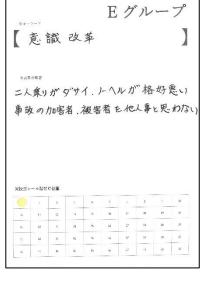
Eグループ



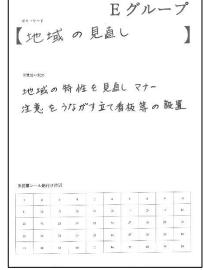


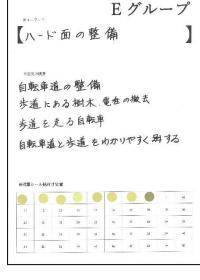














F グループ



